

令和 2 年度実績に関する施策・基本事業評価表 (兼 主要な施策の成果報告書補足資料)

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまち						
施策 No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現						
主管課名	社会福祉課								
関係課名	健康センター、市民課、都市計画課								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康で生きがいをもって、積極的に地域活動に参加しています。 ・高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民 ・ 事業所	・自ら要介護状態になることを予防するため、健康の保持・増進や積極的な社会参加に努めます。							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味活動や就労事業など高齢者生きがい事業の充実を図り、社会参加の機会の確保に努めます。 ・地域包括ケアシステムを推進し、高齢者が安心して在宅で暮らせるよう支援します。 							
	その他 (地域)	・地域が主体となって、地域で暮らす高齢者を支援します。							
施策を実行する うえで基本となる 事業	基本事業①	社会参加の促進							
	基本事業②	地域包括ケアシステムの推進							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	38 (38)	25 (25)	25 (25)	25 (25)	23 (23)	23 (23)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	7 (7)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	5 (5)	5 (5)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	16 (16)	19 (19)	19 (19)	19 (19)	18 (18)	18 (18)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	15 (15)					
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	4,544,045	176,488	213,951	245,754	194,213	200,389
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	49,833	48,840	49,244	66,260	25,449	20,217
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	97,221	127,648	164,707	179,494	168,764	180,172
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	4,396,991					
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	78	57	58	58	50	65
	D. 事務事業に要する年間総時間		時間	23,880	13,200	15,500	15,630	12,260	15,860
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	99,842	54,265	62,419	62,708	53,380	70,292	
F. トータルコスト (B+E)		千円	4,643,887	230,753	276,370	308,462	247,593	270,681	
効率性 指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)		円	105,303	4,133	5,053	5,833	4,661	4,861
	同 上		円	2,314	1,271	1,474	1,488	1,281	1,705
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)		円	2,314	1,271	1,474	1,488	1,281	1,705
	同 上		円	107,617	5,403	6,527	7,321	5,941	6,566
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354	4,432
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672	41,224

基本事業概要シート①

施策 No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現
基本事業名	①社会参加の促進		
基本事業の目的(意図)	高齢者の生きがい事業の充実により、生活機能の維持と積極的な社会参加がはかられています。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【老人クラブ事業】 ・老人クラブ連合会及び単位老人クラブ活動(66クラブ)に対し、全体で3,677,760円の活動事業費の補助を実施しました。</p> <p>【高齢者生きがい事業】 ・例年、出場選手に激励金を渡していたねんりんピックについては、第33回全国健康福祉祭岐阜大会(ねんりんピック岐阜2020)が新型コロナウイルス感染症の影響で一年延期となりました。 ・新型コロナウイルス感染症感染感染拡大の影響から、シルバースポーツ大会、芸能大会、趣味の手作り展などは開催中止としました。</p> <p>【就業機会確保事業】 ・高齢者の就業支援を行っているシルバー人材センターへ9,900,000円の活動補助を実施しました。</p> <p>【高齢者社会参加促進事業(地域介護予防活動支援事業)】 ・高齢者趣味教室運営事業においては感染症対策を行いながら、令和2年度は16教室を開講しました。</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
老人クラブ加入率	%	35.4	30.2	29.6	30	31	32	33	33
					28.8	29.0	27.8	25.8	25.0
高齢者の地域活動の延べ参加者数	人	28,000	16,418	16,913	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000
					14,405	13,794	14,581	12,651	6,047

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 老人クラブ事業	5,010,000	4,678,728	331,272	A	社会福祉課
2	一般会計	○ 高齢者生きがい事業	1,333,000	1,105,564	227,436	B	社会福祉課
3	一般会計	○ 就業機会確保事業	9,950,000	9,950,000	0	A	社会福祉課
4	一般会計	(旧)福祉センター運営事業(H30年3月31日で福祉センター廃止)	732,000	732,000	0	-	社会福祉課
5	介護保険事業特別会計	○ 高齢者社会参加促進事業(高齢者趣味教室運営事業)	4,913,000	3,751,150	1,161,850	A	社会福祉課
6							
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			21,938,000	20,217,442	1,720,558		

基本事業概要シート②

施策 No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現
基本事業名	②地域包括ケアシステムの推進		
基本事業の目的(意図)	医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」が構築され、高齢者が安心して在宅生活を送っています。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【高齢者生活支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物サービス支援事業を行う3地区に対して、市社会福祉協議会を通じて助成し、その活動を支援しました。 【介護予防・生活支援サービス事業】 ・要支援1・2及び事業対象者に対して、生活機能の低下を予防するための介護予防マネジメントを実施し、適切なサービスを提供しました。(再掲) ・旧経田福祉センターにおいて、経田地区振興協議会により住民主体の通いの場魚津市通所型サービスBを開始。延べ67回開催しました。 【生活支援体制整備事業】 ・魚津市社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーター3名を配置しました。 ・経田地区振興協議会が主体となった「経田コミュニティカフェ潮風」(通所型サービスB等)開設に向け、ボランティアスタッフ集め、施設管理等について、開設準備会議等で協議しました。(開設準備会議 5回、その他意見交換会等に参加) 【地域包括支援センター運営事業】 ・高齢者の各種相談窓口として、実態把握や関係機関との連絡調整を行うとともに、ネットワーク構築のための研修会・地域ケア会議を開催しました。 【家族介護者支援事業】 ・在宅の家族介護者の介護負担軽減を目的に、おむつ等介護用品支給事業や徘徊探知機貸与を行いました。 <p>(令和2年度末:おむつ等介護用品支給対象者 466人、支給総額 17,264,089円)</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
自立高齢者の割合	%	82.1	82.5	82.4	83.0 82.1	83.0 81.9	83.5 81.5	84.0 81.1	84.5 80.6
在宅で生活している人の割合	%	93.6	95.9	95.9	96.0 95.9	96.0 96.2	96.5 96.4	96.5 96.4	96.5 96.5

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 高齢者生活支援事業	2,571,000	1,814,104	756,896	B	社会福祉課
2	一般会計	○ 在宅要介護者家族介護手当支給事業	1,890,000	1,380,000	510,000	B	社会福祉課
3	一般会計	在宅福祉推進事業	6,892,000	5,687,287	1,204,713	-	社会福祉課
4	一般会計	在宅高齢者等住宅改善支援事業	1,800,000	626,000	1,174,000	-	社会福祉課
5	一般会計	敬老事業	770,000	469,956	300,044	-	社会福祉課
6	一般会計	老人福祉施設入所措置事務	3,231,000	2,450,220	780,780	-	社会福祉課
7	介護保険事業特別会計	○ 介護予防・生活支援サービス事業	80,598,000	76,277,658	4,320,342	A	社会福祉課
8	予算なし	地域包括支援センター相談員設置事業	0	0	0	-	社会福祉課
9	介護保険事業特別会計	○ 地域包括支援センター運営事業	37,573,000	36,338,556	1,234,444	A	社会福祉課
10	介護保険事業特別会計	地域ケアマネジメント支援事業	60,000	14,004	45,996	-	社会福祉課
11	介護保険事業特別会計	○ 家族介護者支援事業	18,151,000	17,437,743	713,257	B	社会福祉課
12	介護保険事業特別会計	○ 成年後見制度利用支援事業	852,000	137,597	714,403	A	社会福祉課
13	介護保険事業特別会計	○ 配食・給食サービス事業	5,086,000	2,704,350	2,381,650	B	社会福祉課
14	介護保険事業特別会計	生活支援体制整備事業	7,177,000	7,000,000	177,000	-	社会福祉課
15	介護保険事業特別会計	地域ケア会議推進事業	488,000	97,644	390,356	-	社会福祉課
16	介護保険事業特別会計	サービス事業費審査手数料支払事務	364,000	285,740	78,260	-	社会福祉課
17	介護サービス事業特別会計	指定介護予防事業所事業	27,354,000	20,888,334	6,465,666	-	社会福祉課
18	一般会計	○ 高齢者向け優良賃貸住宅補助事業	7,095,000	6,562,700	532,300	B	都市計画課
19							
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			201,952,000	180,171,893	21,780,107		

施策 No.	25	施策名	豊かな長寿社会の実現
令和2年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p>		
	<p>【①社会参加の促進】 ◆老人クラブ加入率は、近年減少傾向にあります。令和2年度は25.0%で前年度対比1.0ポイント減少しました。黒部市、滑川市などの近隣市より低い数値となっています。単位老人クラブの数も減少しています。また、コロナ禍の影響で活動を自粛したため、高齢者の地域活動の延べ参加者数はほぼ半減しております。 ◆シルバー人材センターの会員数は平成27年度末444人であったところ、令和2年度末571人で、大きく増加しています。</p> <p>【②地域包括ケアシステムの推進】 ◆地域包括ケアシステムの推進のため、令和元年度から生活支援コーディネーターを3名配置し、公的サービスのみに限られない高齢者への生活支援の体制づくりを進めています。また、毎月、市とコーディネーターで情報交換等のための打ち合わせ会を実施しています。 ◆平成27年度から、3つの地区社会福祉協議会が実施している買い物支援サービス事業に継続支援を行いました。近年、自立高齢者の割合は微減、在宅高齢者の割合(施設入所者以外)は横ばい傾向にあります。 ◆地域包括支援センターを直営で運営し、社会福祉課内に設置しているので、予防事業や認知症対策はもとより高齢者の在宅生活に関する相談等にも柔軟に連携して対応できています。(富山市以東での委託市町村:富山市、黒部市、入善町、舟橋村)</p>		
	<p>(令和2年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)</p>		
<p>【①社会参加の促進】 ＜老人クラブ事業＞ ◆市老人クラブ連合会や単位老人クラブの活動助成を行い、クラブ活動の活性化につなげました。 ＜高齢者社会参加促進事業＞ ◆スポーツや趣味活動、健康づくり教室といった多様な活動を展開することで、高齢者の社会参加につながりました。 ＜高齢者就業機会確保事業＞ ◆シルバー人材センターでは、会員確保のための広報活動を積極的に行った結果、令和2年度末571人と前年度比18人増加しました。</p> <p>【②地域包括ケアシステムの推進】 ＜生活支援体制整備事業＞ ◆経田地区主体の介護予防・日常生活支援総合事業「魚津市通所型サービスB(住民主体)事業」の創出を支援し、令和2年10月に開所しました。 ＜高齢者生活支援事業＞ ◆市社会福祉協議会を通じて、買い物サービス支援事業を行う3つの地区社会福祉協議会へ助成を行い、高齢者の在宅支援の向上につながりました。 ＜地域包括支援センター運営事業＞ ◆魚津市地域包括支援センター運営方針」を策定し、センターの意義、目的、運営上の基本的な考え方を明確にしました。 ◆高齢者の総合相談809件のうち、146件について訪問実態把握に努めるとともに、各地区社協主催の地域ケア会議に31回参加し、地域での見守り関係者との情報共有を進めたことで、連携強化につながりました。 ＜在宅医療・介護連携事業＞ ◆他職種が参加する研修会や地域ケア会議(全体会)はコロナ禍の影響から令和2年度は未実施となりましたが、地域ケア会議(個別ケース)については、7回開催 20事例の検討を行い、計画作成者及びサービス提供者等、会議参加者のOJT(実務研修)の推進等に繋がりました。</p>			
<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p>			
<p>【①社会参加の促進】 ◆旧福祉センターで実施していた通所型介護予防教室は、令和2年度から商業施設を利用した「さんさん介護予防倶楽部」として、運営を引き続き魚津市社会福祉協議会に委託し実施しています。今後も、老人クラブ活動やシルバー人材センター事業の支援を含め、高齢者の多様な社会参加を推進していきます。</p> <p>【②地域包括ケアシステムの推進】 ◆生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターの活動を充実させ、高齢者を地域全体で支えあう体制づくりを進めます。 ◆介護予防・日常生活支援総合事業「魚津市通所型サービスB(住民主体)事業」は、経田地区に続いて市内で2か所目になる「角川すみれ会」が開所しました。今後は安定的運営を支援するとともに、さらなる開所に向け各地区と協議を重ねていきます。</p>			